

図書交流館「いこっと」の閉架書庫について

1 閉架書庫移転の検討

現在、市内小中学校の不登校児童・生徒が増加傾向にあり、このような子どもの通学先として市役所榛原庁舎に隣接する教育支援センター「フルール」を開所している。フルールは市内唯一の教育支援センターであるが増加する対象児童・生徒に対応するには教室の広さや通所のしやすさに課題がある。相良地区においても児童・生徒が安心して通える常設の専用スペースの確保が求められており、その候補地のひとつとして図書交流館閉架書庫（旧相良図書館）が挙げられ、移転について検討を行う。

2 閉架書庫の現状

場所：相良保健センター2階（旧相良図書館）

面積：89平方メートル

収蔵能力：約2万冊（R6.12現在12,830冊）

設備：照明、エアコン、電話

ボランティア制作物保管庫 兼 会議室機能あり

…R6年度35回利用

※図書交流館閉架として日本図書館協会等に登録



外観

(閉架書庫の様子)



閉架書庫内側



閉架書庫壁側



ボランティア入室簿



備品・打合せテーブル

3 閉架書庫移転先の条件

考えられる条件（案）

- ①最低 20,000 冊以上の本を収蔵できる広さがあること
目安：100 平米以上、耐荷重による
- ②津波や洪水による浸水の恐れがないこと
- ③床の耐荷重が十分にあること
目安：1 平米あたり 300 キログラム以上
- ④温度、湿度の管理がしやすく通気性があること
- ⑤書棚や本を運べる搬入出口があること
- ⑥紫外線から守れること（窓のカーテン等）
- ⑦適度な照度（明るさ）があること
- ⑧電源コンセントが利用できること
- ⑨作業機を設置できること
- ⑩セキュリティの問題がないこと
- ⑪入室時間等に制限がないこと
- ⑫図書ボランティアが入室できること
- ⑬おはなし会の道具や作品等、大きな備品を配置できること
- ⑭ワンフロアの部屋であること
- ⑮空調があること
- ⑯近くに利用できる水道やトイレがあること
- ⑰動線に段差がなく、エレベーターやスロープがあること
- ⑱将来的に拡張できる余地があること

4 検討スケジュール

令和 7 年秋頃までを目途に、代替候補地の選定を行う。